

# ＜令和2年度 新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業 安中一中＞

学年・教科：1年・社会 単元名：世界の諸地域 ヨーロッパ州

ねらい：EU統合に賛成か反対かについて話し合う活動を通して、EU統合がヨーロッパ州の人々に与える影響について、様々な資料を基に関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

## 教師の発問、生徒の反応

## 学習の様子

### 1 本時のめあてをつかむ。(13:40)

T：これまで、いろいろな側面からEUのプラス面とマイナス面について学習してきました。前回の授業では、最後に何を考えましたか？

S：EUについて賛成か反対か自分の意見を考えました。

T：「イギリス国民によるEU加盟反対運動の写真」の提示

S：イギリス国内でも離脱の賛成派と反対派に分かれているんだね。

#### ＜めあて＞

EU統合に賛成か反対かについて話し合い、その影響をまとめよう。

S：ワークシートに書いたことやEU統合プラスマイナスシートなどを使えば、根拠を基に意見を言うことができそうだな。

### 2 一人一人が学習してきたことを基に、小集団で意見交流をすることにより、単元の課題に対する結論を考え発表する。(13:50)

T：グループごとに、一人ずつ自分の意見を説明し、グループとしての意見をまとめましょう。

#### 【S：賛成派】

「歴史面で考えると、この資料からEUは戦争の抑止のために結成されたことが分かる。だから、これからも平和を維持していくために賛成。」

「移動面で考えると、この資料から物の移動に税金がかからないことが分かる。EU域内の貿易が盛んになるので賛成。」

「移動面で考えると、この資料から東ヨーロッパの国々から多くの労働者が西ヨーロッパに出稼ぎに行っていることが分かる。彼らの立場で考えると、より高い賃金で働くことができるので賛成。」

「工業面で考えると、この資料からEU域内の国同士で国際分業をしていることが分かる。だから、それぞれの国の得意分野を生かせるので賛成。」

「農業面で考えると、この資料から共通農業政策に力を入れていることが分かる。だから、EU域内の農業が盛んになるので賛成。」

#### 【S：反対派】

「移動面で考えると、この資料からイギリスのような国は東ヨーロッパからの外国人労働者の流入によって失業者が増えていることが分かる。移動の自由によって、自国民が損をするのは納得がいかないので反対。」

「経済面で考えると、この資料から拠出金の差によって損をしている国もあることが分かる。だから、公平性に欠けているので反対。」

「経済面で考えると、この資料から移民の増加によって税負担が大きくなっていることが分かる。西ヨーロッパの国々の立場から考えると、自国民の負担が辛くなるので反対。」

「政治面で考えると、この資料から国独自の政策がとれないことが分かる。だから、その国がやりたいことができなくなってしまうので反対。」

「文化面で考えると、この資料から移民の増加によって治安が悪化していることが分かる。移民が入ることで自国の文化がなくなるのは嫌だから反対。」

### 3 小集団から出された意見を比較・関連付けながら意見交流を行い、単元の課題に対する結論を考える。(14:10)

T：出してもらった意見を比べてみましょう。移動面については、賛成・反対の両方の意見がありますが、これについて何か意見はありますか？

S：私は賛成だと思います。なぜなら、反対意見と比べて、経済活動がさかんになり、財政面でプラス面の方が効果的だからです。

### 4 本時のまとめをして、一人一人が学習の振り返りをする。(14:20)

#### ＜まとめ＞

EU統合は、移動の自由化や産業・貿易の発達などの成果をもたらした一方で、経済格差や移民・失業者などの増加などの影響も与えている。

#### ＜振り返り＞

EU統合については、様々な側面や立場から成果や課題を考えていく必要があると分かった。

